

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 919

2025年10月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

土木関係の要求に対する市の回答 ②

前号からの続きです。要望と回答の抜粋です。

●寸沢嵐571国道沿い障がい者訓練施設「ファンファン」横から下る道路の雨水対策を

【回答】ご要望の箇所は、側溝を施設していることから、台風など大雨時の流水の状況を確認し、必要に応じてグレーチング蓋に交換するなど排水対策を検討する。

●桂北小学校横の甲州街道から相模湖公園に至る市道の歩道幅（交流センターまで）の拡幅などの対策を

【回答】ご要望については、歩道整備



歩道幅の拡幅などの対策を

が望ましいところですが、早期に拡幅整備の対応を図ることは困難です。安全対策として通行車両に注意喚起を促す路面標示等を検討する。

●市道関口道志線から寸沢嵐1916(M氏)前から、みな畑に入る進入路に待機所の設置と倒木・落枝の対策を

【回答】現地調査を行ったところ、現況道路の通行幅は4mあり、一部では5mあることを確認できた。生活道路としては有効幅員が整っていることから待機所の設置はできない。倒木、落枝について、令和6年度には木の所有者へ通知など指導を行い、危険な枯れた木の伐採、剪定も行っている。今後現地を注視し、パトロールなどで維持管理に努める。

●寸沢嵐6071氏宅からM氏宅間の砂利道の舗装を

【回答】ご要望の箇所は、これまで進めていた隣接土地所有者の方々から同

意を頂くことが整ったことから、令和8年度の工事に向け予算要求をさせていただきます。



砂利道の舗装を

●市道関口道志線、寸沢嵐1850(旧Y氏宅)から弁天橋に向かう右側100mほどに側溝蓋を

【回答】ご要望の箇所については、現況の道路面からかなり低い位置に側溝が設置されており、通常の蓋掛けでは段差の解消はできない構造である。対応可能な構造の検討を行うので、解消までの間は日常のパトロールにて安全確認を実施する。

※前号でもお知らせしましたように、回答の全文は共産党相模湖支部のホームページに掲載しています。

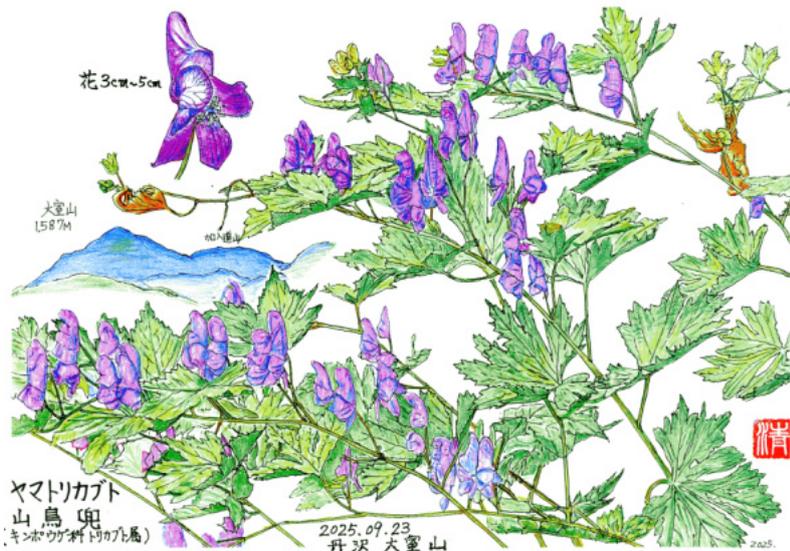
自然観察シリーズ
NO. 587
植物



ヤマトリカブト (山鳥兜)
(キンポウゲ科トリカブト属)

先日、山仲間と青根の神ノ川から大室山へ登りました。

西側に聳える標高一、五八七Mのおなじ



ヤマトリカブト
山鳥兜
(キンポウゲ科トリカブト属)

2025.09.23
丹沢 大室山

大室山は丹沢山塊の西側に聳える標高一、五八七Mのおなじ山頂にはベンチもテーブルも無いので、道志村方面へ少し下り、暑い日差しを避け、ブナ林の中へ入ると、辺り一面ヤマトリカブトの紫色の花と、白いシロヨメナが群生していました。我々は大きな倒木に座って弁当を食べました。廻りはグルツとトリカブトの花に埋もれて、間違つて猛毒の葉や花と一緒に口にに入れてしまわないよう、気を付けて食事しました。これらの植物は鹿が食べないので、現在優先的に繁茂しています。

丹沢で一番の大室山のヤマトリカブトの群生は九月一杯が見頃です。(九月二十三日歩く)

相模湖ダム祭

10月5日、第28回相模湖ダム祭が開催されました。相模湖ダム祭は、相模湖のもつている自然豊かな空間や、ダムがもたらす役割について理解を深めてもらうことを目的に実施されています。

ダム祭は三つのエリアに分けておこなわれました。ダム・発電所エリアでは、発電所の見学や今行われているリニューアル工事の見学が行われました。湖畔・相模湖公園エリアでは、遊覧船での湖上学習が行われ、ダム建設史や湖銘碑の説明、写真展示などが行われました。交流センターエリアでは、魚とふれあう生態学習や相模ダム等の貴重な動画上映などが行われ、各エリアには多くの方が訪れていました。



発電機の説明を聞く参加者



相模ダム